

お客さま本位の業務運営に関する取組状況の公表について

島根銀行(頭取 鈴木 良夫)は、お客さまの資産運用・資産形成に関して2017年6月に制定した「フィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」に基づき、お客さま本位の業務運営の取組状況を定期的に公表しております。

このたび、2021年3月末基準の、主な取組状況および成果指標(KPI)を以下のとおり公表いたします。

当行は、今後もお客さま本位の業務運営の向上のためにその取組状況や成果を定期的に公表するとともに、適宜、方針を見直してまいります。

1. 【経営理念】「常に魅力あるサービスを提供し、お客さまのニーズに積極的に応える」

金融商品仲介業務により、以下のとおりお客さまに提供できるサービスが広がっております。

(1) 取引ツールの拡充

投資信託等のお申込み時は、対面取引で書面による受付に限定しておりましたが、お客さまのご都合に応じインターネット取引、コールセンター取引も可能となったため、来店や書面のご記入の手間が省け、お客さまの利便性が向上しております。

(2) 取扱商品種類の増加

当行の投資信託等の窓口販売業務は、2020年5月28日以降は株式会社SBI証券の金融商品仲介業務に移行しました。これにより以下のとおり取扱商品が増加し、より多い選択肢の中からお選びいただけるようになりました。

また、SBIマネープラザ株式会社と島根銀行の共同店舗を、2019年12月より開始しており、この共同店舗では対面でも豊富な商品を取り扱っております。

		現在の金融商品仲介業務		
		移行したお客さま		共同店舗のお客さま
取引形態	対面	対面	インターネット、 コールセンター	対面、 インターネット、 コールセンター
取扱商品	投資信託 32 ファンドと個人向け国債	移行前と同様 (満期償還により1ファンド減少)	投資信託 2,600 ファンド程度のほか、国内債券、外国債券、国内株式、外国株式、その他(左記の商品を含む)	

2. 利益相反の適切な管理

取組方針

➤「利益相反管理方針」に基づき、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、適切に対応いたします。

〈取組状況〉

- ・各種研修等を通じてお客さま本位の姿勢を徹底するとともに、その実践に向けた取組みを行っております。

3. 手数料等の明確化

取組方針

➤手数料やその他の費用について、透明性向上に努め、お客さまへ分かりやすく丁寧にご説明いたします。

〈取組状況〉

- ・株式会社SBI証券では口座開設の際にお選びいただくコースにより、お取引の際の手数料が異なりますので、口座開設のお申込み時に説明しております。また、投資信託等の仲介取引の際には目論見書や株式会社SBI証券のホームページ画面等を用いて、それぞれの商品における手数料やその他費用について説明させていただいております。
- ・保険商品を販売する際には、実質的にお客さまのご負担となる諸費用等の説明のほか、透明性を高めお客さまに適切な商品選択をしていただけるよう、当行が保険会社から受け取る特定保険契約の代理店手数料も資料を用いて説明しております。

4. 重要な情報の分かりやすい提供

取組方針

➤お客さまの知識・経験等に照らし、適正な情報の提供、商品内容やリスク内容等のご説明に関し、書面の交付その他の適切な方法により、十分にご理解をいただくように努めます。

〈取組状況〉

- ・商品のご提案にあたっては、より平易かつ簡潔な表現を用いて説明するとともに、営業用タブレット端末等を用いてお客さまの投資判断に必要な情報をタイムリーに提供するよう努めております。
- ・当行ホームページより投資信託取扱商品の比較を行っていただけるほか、営業用タブレット端末においてモーニングスター株式会社「Wealth Advisors」を活用したマーケット情報、銘柄比較など各種情報の提供や、各種シミュレーションなどライフイベントに応じた総合型の提案を行っております。
- ・なお、お客さまに金融機関や各種の商品の比較を容易に行っていただくことを目的に、本年度において、以下の内容を記載した「重要情報シート」の導入を予定しております。「重要情報シート」を交付しご説明いたしますが、商品ごとに、より重要な情報については、特にその重要性をお知らせいたします。
 - (1) 当行の基本情報、取扱商品、商品ラインアップの考え方、苦情相談窓口
 - (2) 商品等の内容（想定するお客さまの属性を含む）、リスク、運用実績、費用、換金・解約の条件、利益相反の可能性、租税の概要等

5. お客様にふさわしいサービスの提供

取組方針

- ▶お客様の金融商品に関する知識、経験、財産の状況及び購入目的を踏まえて適当と考えられる商品をお勧めいたします。
- ▶お客様の金融知識の向上に努めます。
- ▶お客様の投資目的やリスク許容度に応じ、適切な商品をご選択いただけるよう、商品ラインアップの充実を図ります。
- ▶商品販売後においても、保有資産の状況や市場動向等について、適時適切かつ丁寧に情報提供いたします。

〈取組状況〉

- ・お客様の資産・負債状況、属性等にかかるヒアリングを十分に行い、お客様のリスク許容度に応じた商品の提供に努めております。
- ・お客様にご投資に関する知識を深めていただけるよう、当行ホームページにモーニングスター株式会社【公式】YouTubeチャンネルのバナーを設置し、各種講演などご覧いただけるようにしております。
- ・SBIマネープラザ株式会社との共同店舗「島根銀行SBIマネープラザ」では、マネープラザ職員による資産運用のコンサルティング、アドバイスとともに多様な金融商品・サービスを提供しております。

【商品ラインアップ】

〈金融商品仲介業務（投資信託、株式、債券等）〉

取扱商品は株式会社SBI証券が提供する商品となります。

詳細につきましては株式会社SBI証券ホームページ(<https://www.sbisec.co.jp>)からご確認いただけます。

〈生命保険〉

2021年3月末現在、生命保険は一時払保険8商品、平準払保険10商品を取扱っております。

①一時払保険

	取扱商品数	取扱商品比率
円建	4	50.0%
変額終身	1	12.5%
定額終身	3	37.5%
外貨	4	50.0%
変額年金	1	12.5%
定額年金	1	12.5%
変額終身	0	0.0%
定額終身	2	25.0%
合計	8	100.0%

②平準払保険

	取扱商品数	取扱商品比率
年金保険	1	10.0%
終身保険	1	10.0%
がん保険	2	20.0%
医療保険	4	40.0%
収入保障保険	1	10.0%
就業不能保険	1	10.0%
合計	10	100.0%

- ・投資信託については相場急変時において急落した銘柄を保有されるすべてのお客様を対象に、また、生命保険については特定保険契約の契約者の方を中心に、アフターフォローを実施しております。

6. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

取組方針

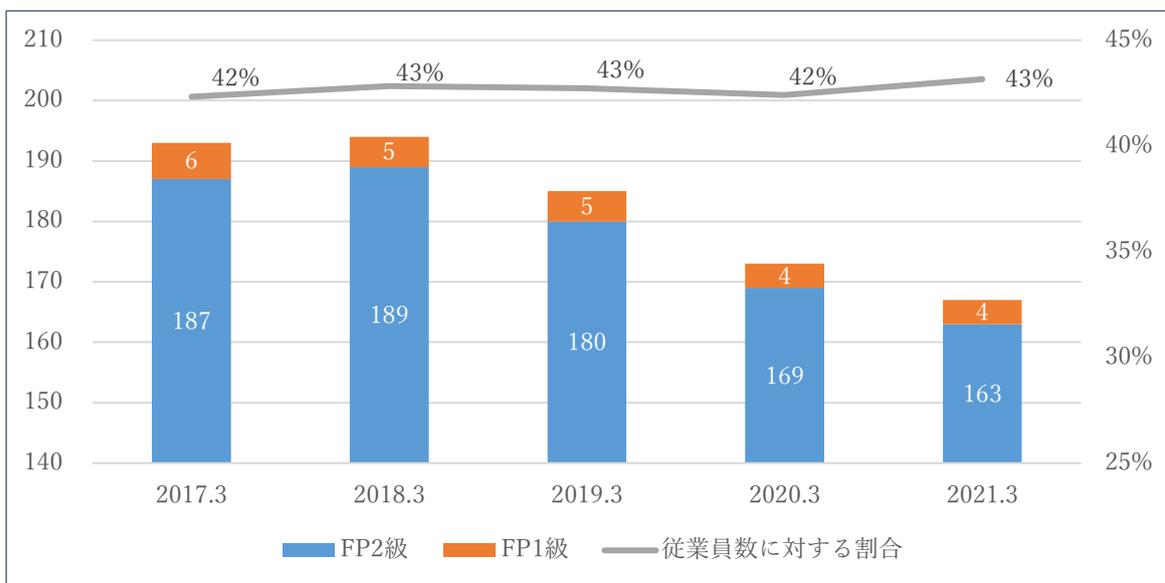
- お客さまのニーズや利益に適う営業活動を評価するために、職員の評価体系を随時見直しいたします。
- お客さまに対する適切な勧誘を行うよう、内部管理体制の強化、研修体制の充実に努めております。また、お客さまの信頼と期待を裏切らないよう、常に商品知識の習得に努めます。
- 研修等を通じて、役職員全員が本方針を理解し、実践するよう努めます。

〈取組状況〉

- ・お客さまのニーズを踏まえた適切な営業活動が行えるよう、評価体系を随時見直しております。
- ・お客さまに対する適切な勧誘が行えるよう、各種研修等の充実を図るとともに、専門資格の取得に努めております。

【FP 資格取得者数の推移】

(単位：人)



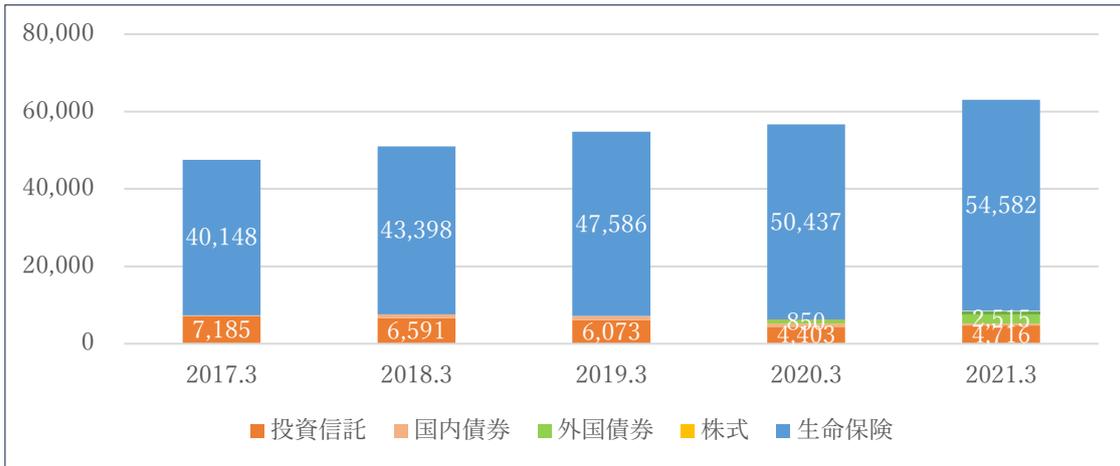
- ・各種研修、会議等を通じてお客さま本位の姿勢を徹底するとともに、その実践に向けた取組みを強化しております。

7. お客様本位の業務運営の実践

〈取組状況〉

【預り資産残高の推移】

(単位：百万円)

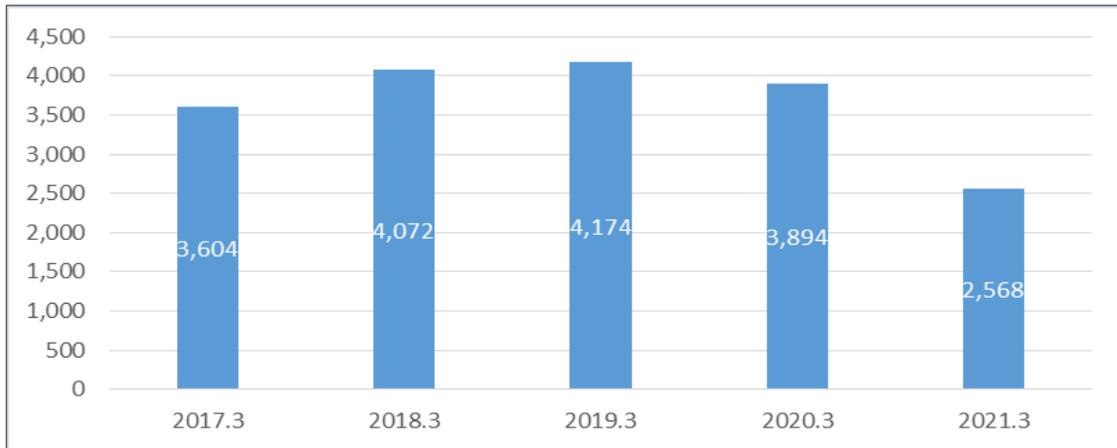


※2020年3月期より金融商品仲介取引に係る残高を含んでおります。

※生命保険（一時払保険）の残高は、契約の累計額で表示しています。

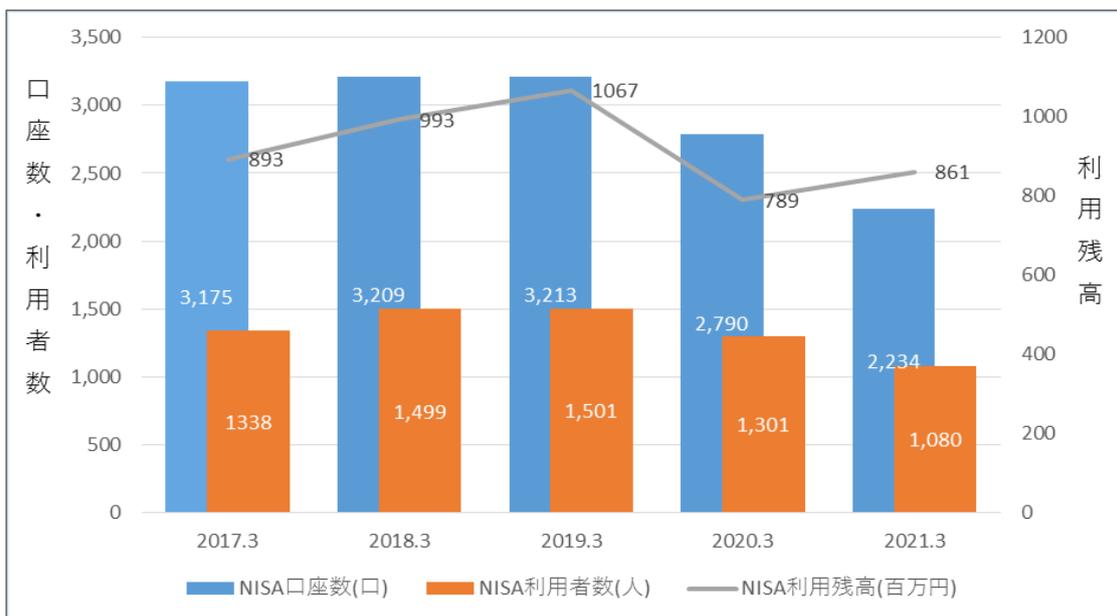
【定時定額購入契約件数（投資信託）の推移】

(単位：件)



【NISA口座の状況】

(単位：口・人・百万円)

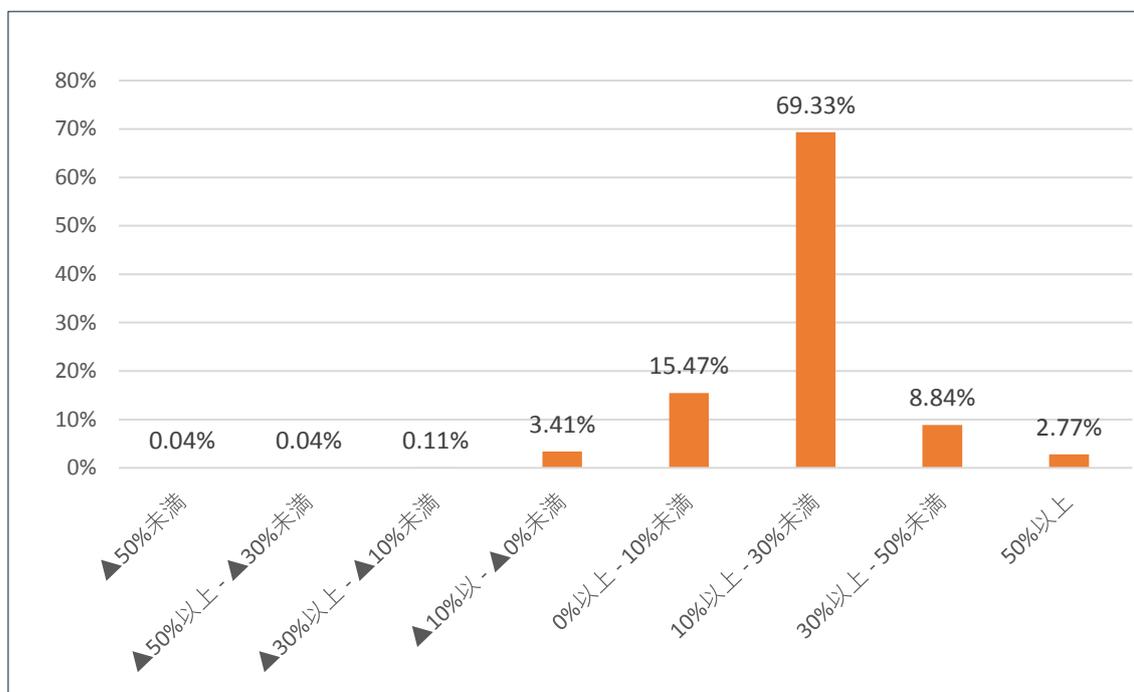


投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」につきまして、2021年3月末を基準とした以下の3指標を公表いたします。

【投資信託の運用損益別お客さま比率】

2021年3月末基準

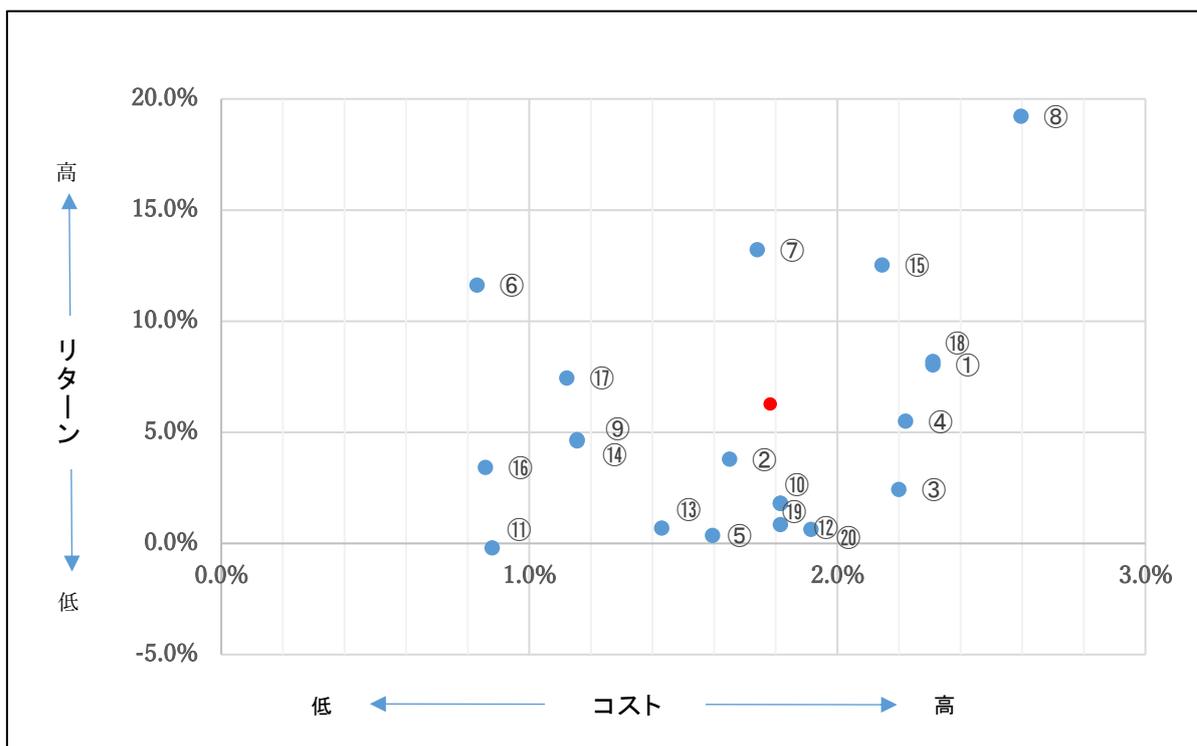


当行の金融商品仲介業務により株式会社SBI証券において投資信託を保有しているお客さまにつきまして、基準日時点の保有投資信託にかかる2020年5月28日以降の累積の運用損益(手数料控除後)を算出し、運用損益別に比率を示したものです。

当行から株式会社SBI証券への残高の移管により、ご購入当初からの運用損益ではなく、2020年5月28日(移管日)以降の運用損益となっております。

【投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン】

2021 年 3 月末基準



設定後 5 年以上の投資信託の預り残高上位 20 銘柄について、銘柄ごとのコストとリターンの関係を示した指標です。(●印は残高加重平均値)

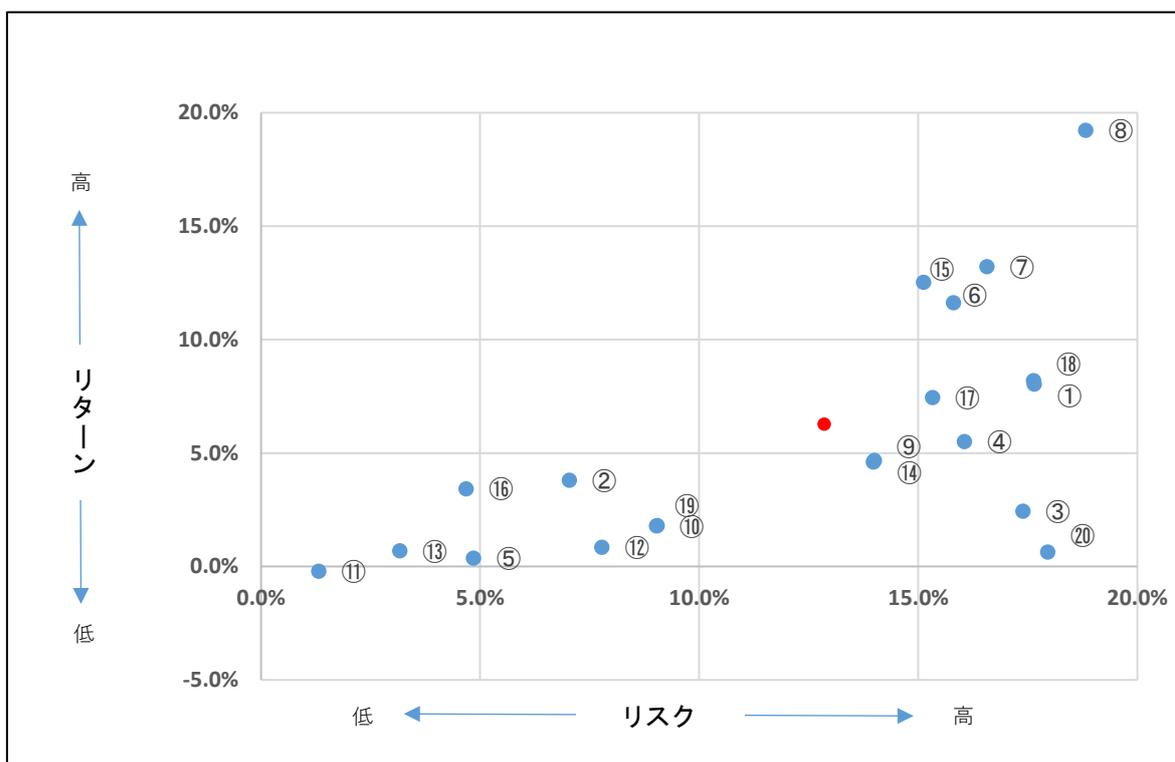
リターン：過去 5 年間のトータルリターン(年率換算)

コスト：販売手数料率の 1/5 と信託報酬率の合計値

NO	銘柄名	コスト	リターン
①	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (毎月分配型)	2.31%	8.03%
②	MHAM トリニティオープン (毎月決算型)	1.65%	3.79%
③	ラサール・グローバルREITファンド (毎月分配型)	2.20%	2.43%
④	ダイワ・US-REIT・オープン (毎月決算型) Bコース	2.22%	5.50%
⑤	ワールド・ソブリンインカム (十二単衣)	1.60%	0.36%
⑥	MHAM 株式インデックスファンド 225	0.83%	11.63%
⑦	グローバル好配当株オープン	1.74%	13.21%
⑧	グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)	2.60%	19.22%
⑨	MHAM J-REIT インデックスファンド (毎月決算型)	1.16%	4.61%
⑩	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン (毎月分配型)	1.82%	1.79%
⑪	ダイワ日本国債ファンド (毎月分配型)	0.88%	-0.21%
⑫	ダイワ高格付カナダドル債オープン (毎月分配型)	1.82%	0.84%
⑬	コア資産形成ファンド	1.43%	0.68%
⑭	MHAM J-REIT インデックスファンド (年1回決算型)	1.16%	4.67%
⑮	米国連続増配成長株オープン	2.15%	12.53%
⑯	バランスセレクト 30	0.86%	3.42%
⑰	トピックス・インデックス・オープン	1.12%	7.44%
⑱	アジア・オセアニア好配当成長株オープン (1年決算型)	2.31%	8.18%
⑲	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン (年1回決算型)	1.82%	1.80%
⑳	メキシコ債券オープン (毎月分配型)	1.91%	0.63%
残高加重平均値 (●印)		1.78%	6.27%

【投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン】

2021 年 3 月末基準



設定後 5 年以上の投資信託の預り残高上位 20 銘柄について、銘柄ごとのリスクとリターンの関係を示した指標です。(●印は残高加重平均値)

リターン：過去 5 年間のトータルリターン(年率換算)

リスク：過去 5 年間の月次リターンの標準偏差

NO	銘柄名	リスク	リターン
①	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	17.65%	8.03%
②	MHAM トリニティオープン(毎月決算型)	7.04%	3.79%
③	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	17.39%	2.43%
④	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型) B コース	16.06%	5.50%
⑤	ワールド・ソブリンインカム(十二単衣)	4.85%	0.36%
⑥	MHAM 株式インデックスファンド 2 2 5	15.80%	11.63%
⑦	グローバル好配当株オープン	16.57%	13.21%
⑧	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	18.82%	19.22%
⑨	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	13.98%	4.61%
⑩	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	9.03%	1.79%
⑪	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	1.32%	-0.21%
⑫	ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)	7.78%	0.84%
⑬	コア資産形成ファンド	3.17%	0.68%
⑭	MHAM J-REIT インデックスファンド(年1回決算型)	14.00%	4.67%
⑮	米国連続増配成長株オープン	15.12%	12.53%
⑯	バランスセレクト 3 0	4.68%	3.42%
⑰	トピックス・インデックス・オープン	15.33%	7.44%
⑱	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(1年決算型)	17.63%	8.18%
⑲	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(年1回決算型)	9.05%	1.80%
⑳	メキシコ債券オープン(毎月分配型)	17.95%	0.63%
残高加重平均値(●印)		12.86%	6.27%

以上

本件に関するお問い合わせ先
 島根銀行 営業推進グループ
 担当：内田 TEL (0852) 24-1240